

令和2年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間令和2年4月1日～令和3年3月31日

施設名	大和市下草柳児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター下草柳会館管理運営委員会 会長 齋藤 俊衛
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・児童館施設の承認に関する業務

(単位:人)

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均	開館日数 (日)
下草柳	15	1,106	43	10	1,174	5	229

・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで(月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く)職員1名以上の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

・自主事業の計画及び実施(主な事業)

事業名	開催期間	参加者数
進級お祝い工作	休館	
5月の工作	休館	
つきき積み大会	休館	
6月の工作	休館	
七夕飾り作り	中止	
七夕の集い	中止	
卓球教室	中止	
夏休み工作	中止	
なつまつり	中止	
自由工作	中止	
お月見工作	中止	
ハロウィン工作	中止	
ハロウィンパーティー	中止	

作って遊べる工作(くるくるレインボウ)	中止	
中央地区ふれあい広場	中止	
クリスマス工作	中止	
クリスマス会	中止	
冬の工作	中止	
スイーツ作り	中止	
児童館作品展	中止	
春の工作	中止	
作って遊べる工作	中止	

※週変わりの工作実施

フラワースタンド、うちわ、プラ板、ハロウィン工作、帽子のマグネット、クリスマス工作(松ぼっくりのツリー)、
 タオルの犬、絵馬(逆立ちこまの色付け)、毛糸のボンボン、国旗ビーズ、
 モザイクチップのマグネットづくり

【業務実施状況に関する補足説明】

新型コロナウイルス感染防止対策として令和2年4月1日から6月30日まで休館したことにより開館
 日数及び利用者数が減少しています。

2. 収支決算概要

(単位:円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,757,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,617,000
休館中の精算分 (空調工事期間)	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	139,218
収入計(①)	2,757,000	支出計(②)	2,756,218

収支決算	782
------	-----

【収支決算に関する補足説明】

特になし

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和3年2月に利用者アンケートを実施し、令和2年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
・施設の管理・運営については、条例等に則り適切に行われています。 ・コロナ禍の中においても、一定数の子どもたちが利用しており、安全安心な居場所として、子どもたちが児童館を利用している点を高く評価します。
評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
・コロナ感染予防として、大きなイベントの実施が難しい中、週替わりで工作を実施し、利用者が児童館に継

続いて通える取り組みをしている点を評価します。

- ・工作は種類も多く、利用者アンケートから、楽しみにしている児童の多いことがわかります。
- ・コロナ感染予防として、卓球を休止していることについて、利用者から卓球を利用したいという意見が多く寄せられています。コロナ感染予防対策を万全に実施したうえで、再開できるようになることを期待します。
- ・コロナ感染予防対策として、おもちゃなどの遊具の使用を大きく制限している点について、遊具のこまめな消毒や、複数またはスペアの遊具を用意するなどの工夫を凝らし、子どもたちが充実した時間を児童館で過ごすことができるような取り組みを期待します。

評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか

- ・日常の清掃が適切に行われているほか、施設を維持するための取り組みが見られます。

評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

- ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な人員配置及び財務状況と判断します。
- ・指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。